

参考資料-2 地滑り区域調書様式

土砂災害防止に関する基礎調査 地滑り編
様式一覧

様式番号	名 称	サイズ	備考
表紙	位置、位置図	A4横	
様式0	調査理由及び調査関係者リスト	A4横	関係者等括り
様式1-1	公示履歴等	A4横	箇所一括
様式2-1	地滑り区域の特定図	A4横	地滑り区域毎
様式2-2 (1)、(2)	地形・地質状況等	A4横	地滑りブロック毎
様式2-3	過去の災害実態	A4横	〃
様式2-4	資料調査結果図	A4横	箇所一括
様式2-5	地形調査結果図	A4横	〃
様式2-6	現地調査結果図	A4横	〃
様式2-7	地形及び人工構造物等の状況図	A4横	〃
様式3-1	危害のおそれのある土地等の設定図及び建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項	A4横	地滑り区域毎
様式3-2 (1)、(2)	危害のおそれのある土地等の調査等	A4横	〃
様式3-3	人家等の建築構造状況図	A4横	〃
様式3-4	土地利用状況図	A4横	〃
様式3-5	宅地開発の状況および建築の動向	A4横	〃
様式3-6	現地写真・スケッチ等の位置図	A4横	〃
様式3-7	現地写真・スケッチ等	A4横	〃
様式4-1	地滑り区域設定根拠	A4横	〃
様式4-2	危害のおそれのある土地等の設定根拠	A4横	〃
様式4-3	危害のおそれのある土地等の設定断面図	A4横	〃
様式4-4	地滑りが発生した場合において、地形の状況により明らかに地滑り地塊の滑りに伴って土石等が到達しないと認められる土地の区域の設定図	A4横	〃
様式4-5	著しい危害のおそれのある土地等の設定に関する計算結果	A4横	〃

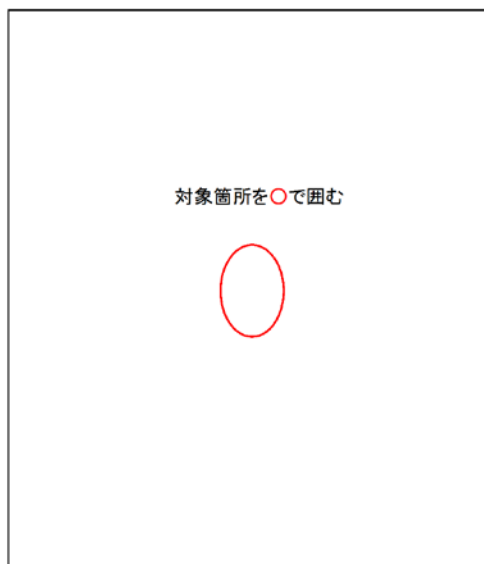
土砂災害防止に関する基礎調査(地滑り)

表紙 位置、位置図

自然現象の種類	地滑り
箇所番号	〇〇〇
箇所名	〇〇〇
所在地	千葉県〇〇市〇〇
調査機関	千葉県〇〇土木事務所



位置図(S=1:200,000)



位置図(S=1:25,000)

千葉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式〇 調査理由及び調査関係者リスト

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号 〇〇〇	箇所名 〇〇	所在地 千葉県〇〇市 〇〇〇
調 査 年 月 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		地滑り区域名 A
調 査 理 由	土砂災害防止法第7条第1項の土砂災害警戒区域及び第9項第1項の土砂災害警戒区域の指定その他、土砂災害防止法に基づき行われる土砂災害防止のための対策に必要な基礎調査として実施した。		
役 割	氏 名	役 職	所 属 ・ 部 署 名
監督員			
副監督員			
調 査 担 当 者		管理技術者	
		照査技術者	
		担 当 者	
		担 当 者	

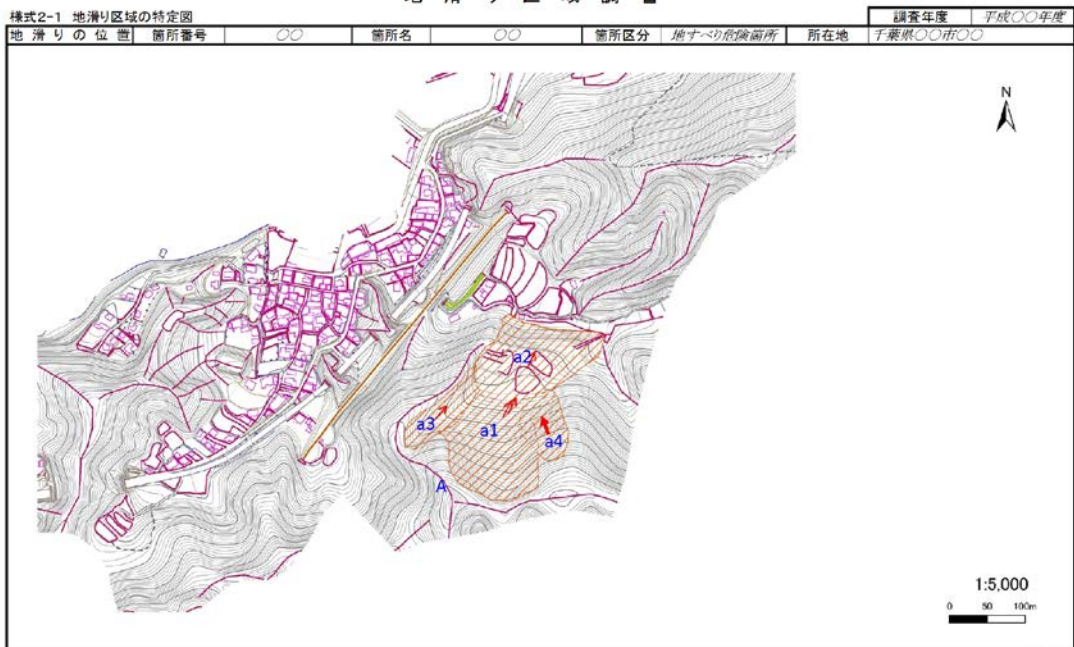
千葉県

地滑り区域調査

様式1-1 公示履歴等				調査年度	平成〇〇年度	
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地	千葉県〇〇市 〇〇
公示履歴			土砂災害警戒区域等の管理			
地滑り区域	公示年月	公示番号	指定・解除	理由	箇所番号	箇所名
基礎調査履歴						
回数	調査年月	理由				
第1回	平成28年3月	基礎調査				
地すべり防止区域						
指定年月日	告示番号	区域名称	指定面積 (ha)	所管		
地すべり危険箇所・危険地区・危険地						
箇所番号	箇所名	箇所区分	箇所面積 (ha)	所管		
〇〇	〇〇	地すべり危険箇所		国土交通省		
砂防基金図						
空中写真撮影年度	平成〇〇年度					
図化年度	平成〇〇年度					
種別	千葉県砂防基金図 (DM・TIN・オゾン等質)					
図面縮尺	1/2,500					
新規・修正の区分	変更					
準拠ガイドライン名	土砂災害防止法に使用する数値地図作成ガイドライン(第2版)及び千葉県数値地図作成マニュアル					

千葉県

地滑り区域調査



千葉県

地滑り区域調査

様式2-2(1) 地形・地質状況等		調査年度		平成〇〇年度	
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地
地滑りブロック名	a2	既往調査による地滑りブロックの番号		箇所区分	地すべり危険箇所
資料調査結果					
ボーリング調査	無	ボーリング調査の実施状況			
動態観測	無	動態観測の種類			
地滑り区域調査					
対策施設		調査年度		平成〇〇年度	
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地
地滑りブロック名	a1	既往調査による地滑りブロックの番号		箇所区分	地すべり危険箇所
資料調査結果					
ボーリング調査	無	ボーリング調査の実施状況			
動態観測	無	動態観測の種類			
対策施設	無	対策施設の種類			
災害履歴	無	概略の災害状況			
地形調査・現地調査結果(地滑りブロックの明瞭性・滑動性に関する事項)					
側方部(右)	地滑りブロックの位置	地形調査結果		現地調査結果	
		地滑り地形の明瞭性	地滑りブロックの明瞭性に関する事項	地滑りブロックの滑動性に関する事項	特記事項
側方部(左)	頭部	明瞭	確認項目	判定額	確認事項
		不明瞭	判定額	判定額	特記事項
末端部	側方部(右側)	不明瞭	確認項目	判定額	確認事項
		不明瞭	判定額	判定額	特記事項
地滑りブロックd	側方部(左側)	明瞭	確認項目	判定額	確認事項
		不明瞭	判定額	判定額	特記事項
地滑りブロックe	末端部	不明瞭	確認項目	判定額	確認事項
		不明瞭	判定額	判定額	特記事項
地滑りブロックの明瞭性の判定		全体の輪郭	確定できる	判定の根拠	頭部、側方部、末端部は、空中写真と現地調査により、段差地形や地形変換線(準急線)で判定した。
地滑りブロックの滑動性の判定		末端部	確定できない	判定の根拠	地滑りブロック全体に滑動性を示す変動現象は確認できなかった
地滑りブロックの形状		長さ(m)	266.0	幅(m)	130.0
地滑り方向の設定根拠		斜面最大傾斜方向			
地滑りブロックより下方斜面の状況		農地(休耕地)、宅地			

千葉県

地滑り区域調査

様式2-2(2) 地形・地質状況等		調査年度		平成〇〇年度	
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地
地滑りブロック名	a2	既往調査による地滑りブロックの番号		箇所区分	地すべり危険箇所
地形調査・現地調査結果(その他、地滑りに関連する調査事項)					
地滑り区域調査					
対策施設		調査年度		平成〇〇年度	
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地
地滑りブロック名	a1	既往調査による地滑りブロックの番号		箇所区分	地すべり危険箇所
地形調査・現地調査結果(その他、地滑りに関連する調査事項)					
地表水・植生・土地	地滑りブロックの位置	確認事項	判定額		特記事項
		判定額	判定額	判定額	特記事項
地形	地滑りブロックの位置	確認事項	判定額		特記事項
		判定額	判定額	判定額	特記事項
対策施設	地滑りブロックの位置	確認事項	判定額		特記事項
		判定額	判定額	判定額	特記事項
その他特記事項		特になし			
対策施設		変状の有無	-	変状状況	-
その他特記事項(変状確認時の聞き取り調査など) 特になし					

千葉県

地滑り区域調査書

様式2-3 過去の災害実態							調査年度	平成〇〇年度
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地	千葉県〇〇市〇〇	箇所区分	地すべり危険箇所
地滑りブロック名	a1, a2, a3, a4			既往調査による地滑りブロックの番号				
発生日時等	発生年月日		発生時刻		発生位置	北緯	東経	
地滑りの規模等	長さ (m)		斜面勾配 (度)		地滑り地の種類	基礎地質名	単位地積重量 (kN/m ³)	
	幅 (m)		移動土砂量 (m ³)		地滑り地塊の性状	内部摩擦角 (°)		
	移動厚 (m)		移動距離 (m)					
災害発生状況	過去の被災履歴無し							
被害	人的被害の状況	死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	(重傷者)	(軽傷者)		
被害		被災戸数(戸)	(全壊・流出)	半壊	一部半壊			
被害		被災家屋の棟数	未達	非未達				
気象	降雨量	連続雨量(mm)	最大24時間雨量(mm)	最大時間雨量(mm)				
気象	観測所名	異常気象名						
その他特記事項								

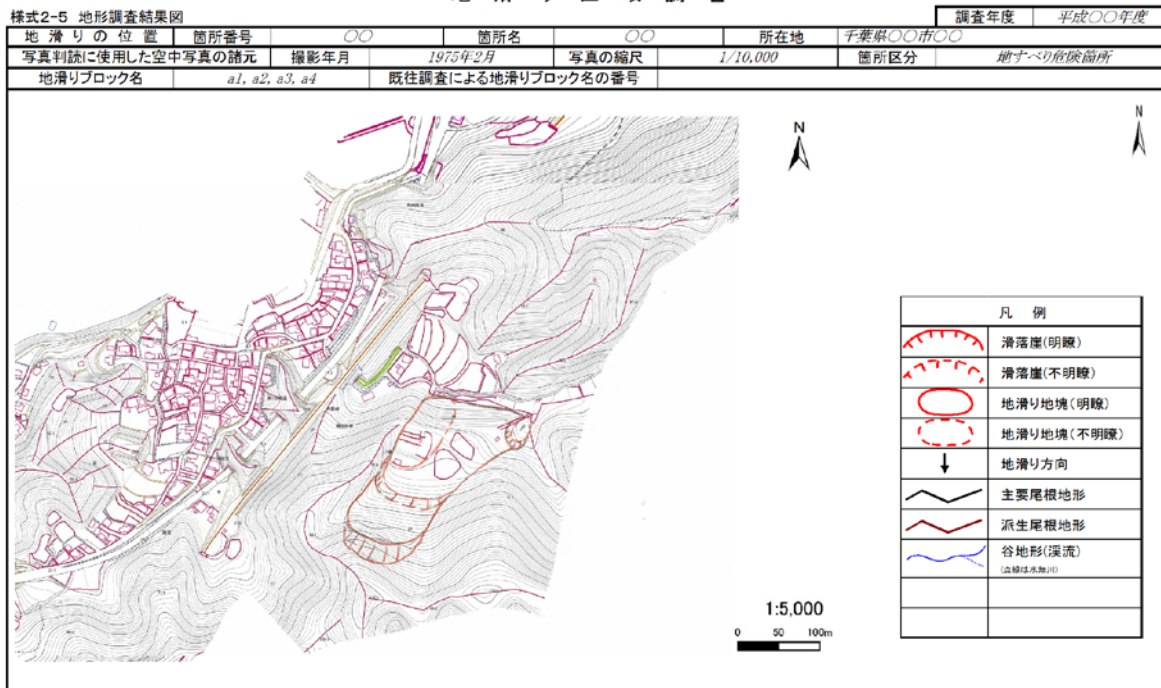
千葉県

地滑り区域調査書

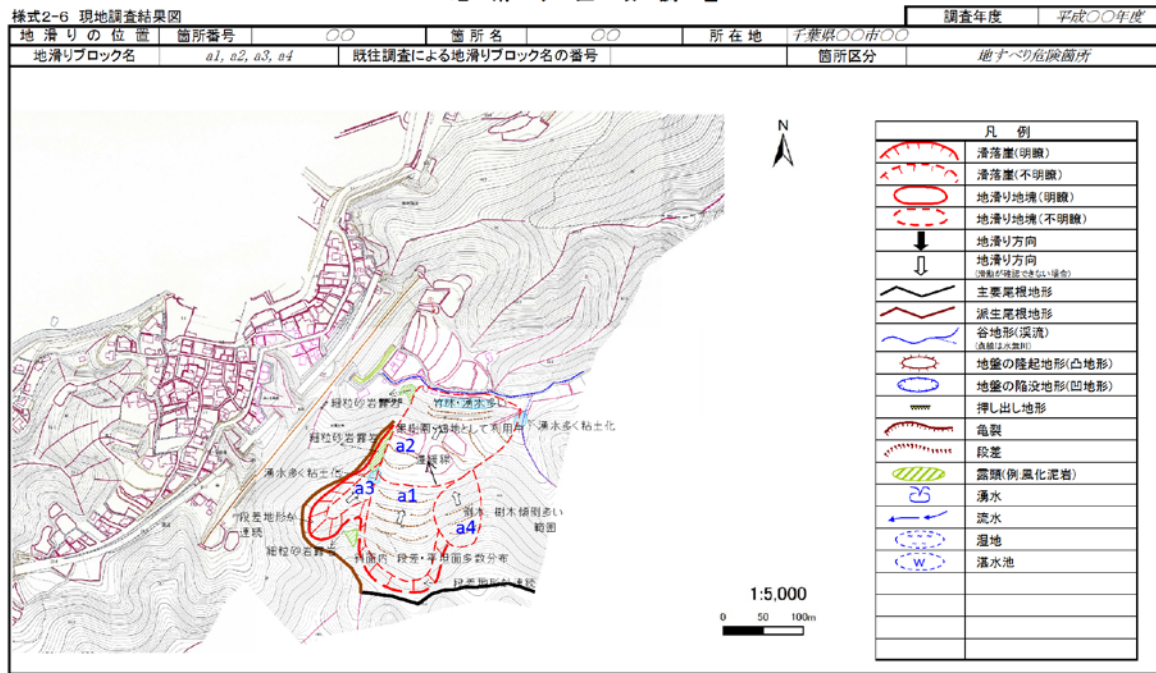
様式2-4 資料調査結果図							調査年度	平成〇〇年度
地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地	千葉県〇〇市〇〇	箇所区分	地すべり危険箇所
地滑りブロック名	a1, a2, a3, a4			既往調査による地滑りブロックの番号				
<p>(様式L-3) 地すべり斜面カルテ 3 No. 5</p> <p>調査結果等</p> <p>初期段階のカルテ①深さ約3mの頭部滑り層が認められ、部分的に表層崩壊も認められる。②深さ約4mの頭部滑り層が認められるが、流動の兆候は認められない。③地すべり中腹部は、緩傾斜面を呈し主に果樹林として利用されている。</p> <p>斜面状況のスケッチ等</p>								
様式監修 建設省河川局砂防部							箇所番号	52
							箇所名	小湫
							作成日	年 月 日

千葉県

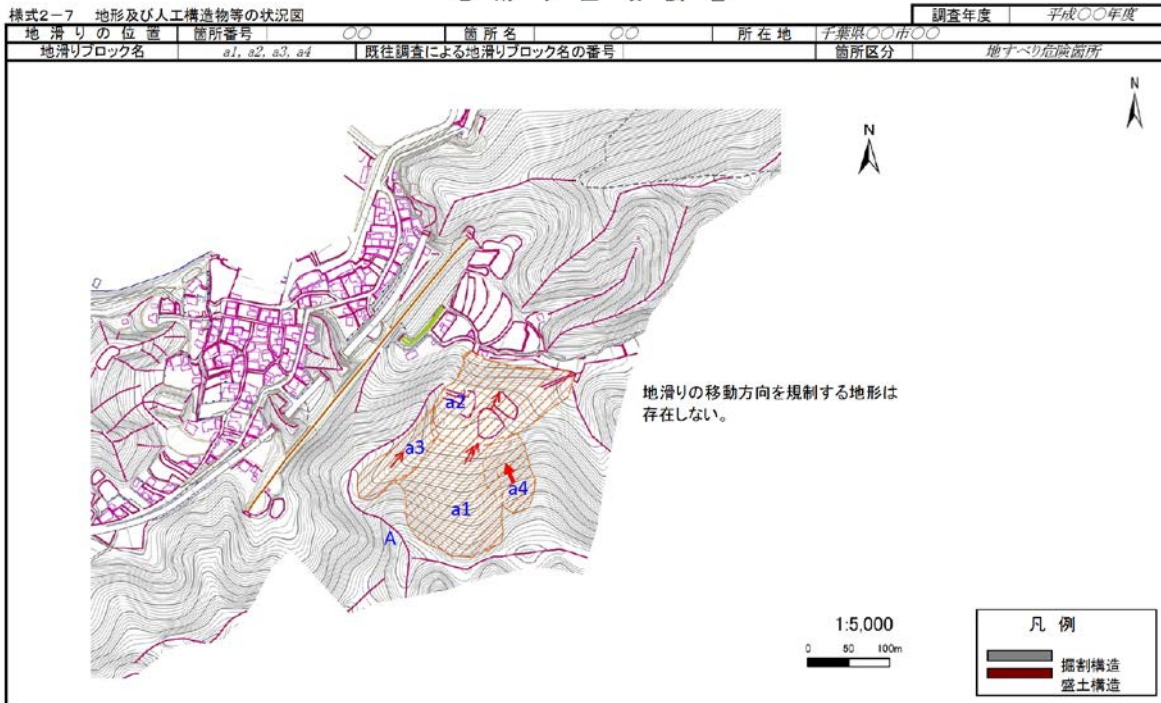
地滑り区域調査



地滑り区域調査

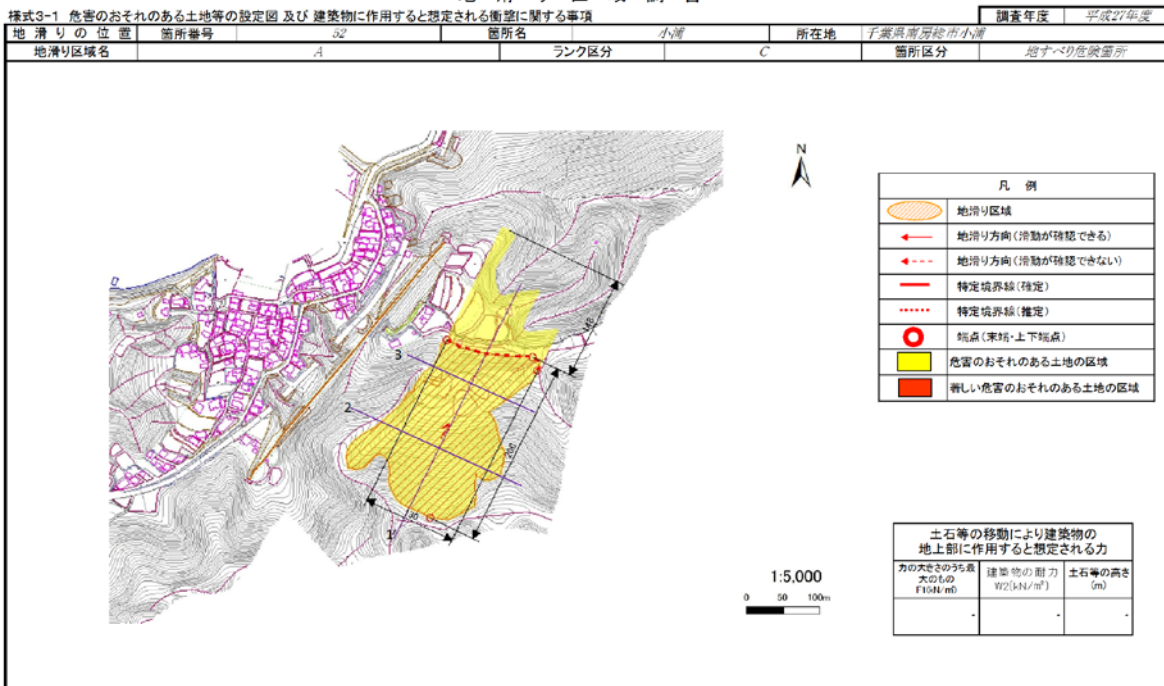


地滑り区域調査



千葉県

地滑り区域調査



千葉県

地滑り区域調査書

様式3-2(1) 危害のおそれのある土地等の調査等

地滑りの位置	面所番号	○○	面所名	○○	所在地	千葉県○○市○○	調査年度	平成○○年度
地滑り区域名	ランク区分	A		C	面所区分	地すべり危険箇所		
地滑り区域の長さ	296.0	地滑り区域の幅	130.0	土地の面積	43018	m ²		
土地の土地利用	道路	水路	港泊	宅地	農地	山林		備考
地滑り区域内	○	○	○	○	○	○		農地内所蔵小屋あり
地滑り区域下方	○	○	○	○	○	○		
人家戸数	J R(m)	私鉄(m)	鉄道道路(m)	国道(m)	県道(m)	市町村道(m)		
公共施設等の状況	公共的建物全数		内、災害弱者関連施設数					
公共的建物	延床面積	種類	構造	施設数	名称	延床面積	種類	構造
災害弱者関連施設	延床面積	種類	構造	施設数	名称	延床面積	種類	構造
	1					6		
	2					7		
	3					8		
	4					9		
	5					10		
新しい危害のおそれのある土地等の調査	土地の面積		m ²					
土地の土地利用	道路	水路	港泊	宅地	農地	山林		備考
人家戸数	J R(m)	私鉄(m)	鉄道道路(m)	国道(m)	県道(m)	市町村道(m)		
公共施設等の状況	公共的建物全数		内、災害弱者関連施設数					
公共的建物	延床面積	種類	構造	施設数	名称	延床面積	種類	構造
災害弱者関連施設	延床面積	種類	構造	施設数	名称	延床面積	種類	構造
	1					6		
	2					7		
	3					8		
	4					9		
	5					10		
地域防災計画への記載の有無	所	自主防災組織の有無	所	計画設置の有無	所			
災害の概要の位置等	所在地	○○○○	名称	○○	管理者	千葉県	精度	○○.○○.○○
基礎雨量の設定の有無	有	警戒基準	○○mm	避難基準	○○mm	発生基準	○○mm	
予警報等情報伝達システムの有無	有	避難場所	○○小学校	所在地	○○	経度	○○.○○.○○	
避難路の設定の有無	有	避難経路	○○小学校	所在地	○○	経度	○○.○○.○○	
住民への防災情報周知状況	未設定	その他						
防災訓練等の実施状況	未設定							

千葉県

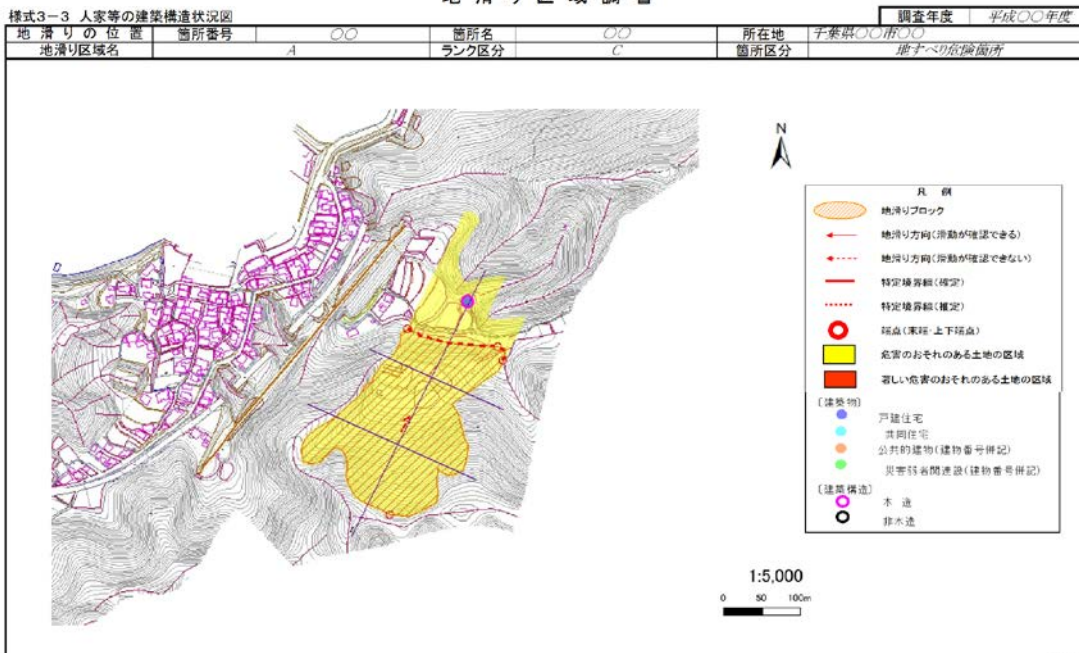
地滑り区域調査書

様式3-2(2) 危害のおそれのある土地等の調査等

地滑りの位置	面所番号	○○	面所名	○○	所在地	千葉県○○市○○	調査年度	平成○○年度
地滑り区域名	ランク区分	A		C	面所区分	地すべり危険箇所		
関係諸法令の指定状況								
主に災害の防止に関する事項								
法律名	法規制区域・地区	有無	備考					
砂防法	砂防指定地	無	安房地域整備センター管内図					
地すべり等防止法	地すべり防止区域	無	同上					
急傾斜地の取囲による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	無	同上					
森林法	保安林	無	国土交通省HP					
建築基準法	災害危険区域	無						
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	無	国土交通省HP					
主に土地の現状に関する事項								
法律名	法規制区域・地区	有無	備考					
統計法	人口集中地区	無	総務省HP					
主に建築や開発の動向に関する事項								
法律名	法規制区域・地区	有無	備考					
都市計画法	市街化区域	無	国土交通省HP					
	市街化調整区域	無	同上					
	未編引き区域	無	同上					
	準都市計画区域	無	同上					
	風致地区	無	同上					
離島振興法	離島振興対策実施区域	無	同上					
過疎地域自立促進特別措置法	過疎地域	有	総務省HP					
総合保養地域整備法	特定地域	有	千葉県HP					
自然公園法	国立公園	無	環境省HP					
	国定公園	無	同上					
	都道府県立自然公園	無	千葉県HP					
都市緑地法	特別緑地保全地区	無	国土交通省HP					
自然環境保全条例	原生自然環境保全地域	無	環境省HP					
	自然環境保全地域特別地区	無	同上					

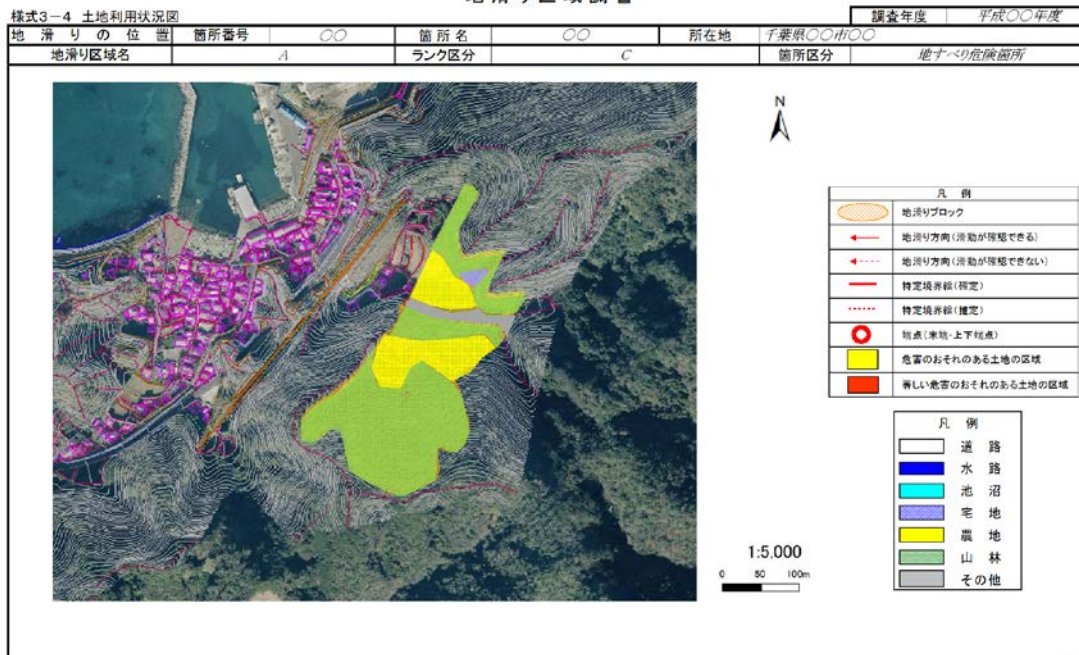
千葉県

地滑り区域調書



千葉県

地滑り区域調書



千葉県

地滑り区域調査

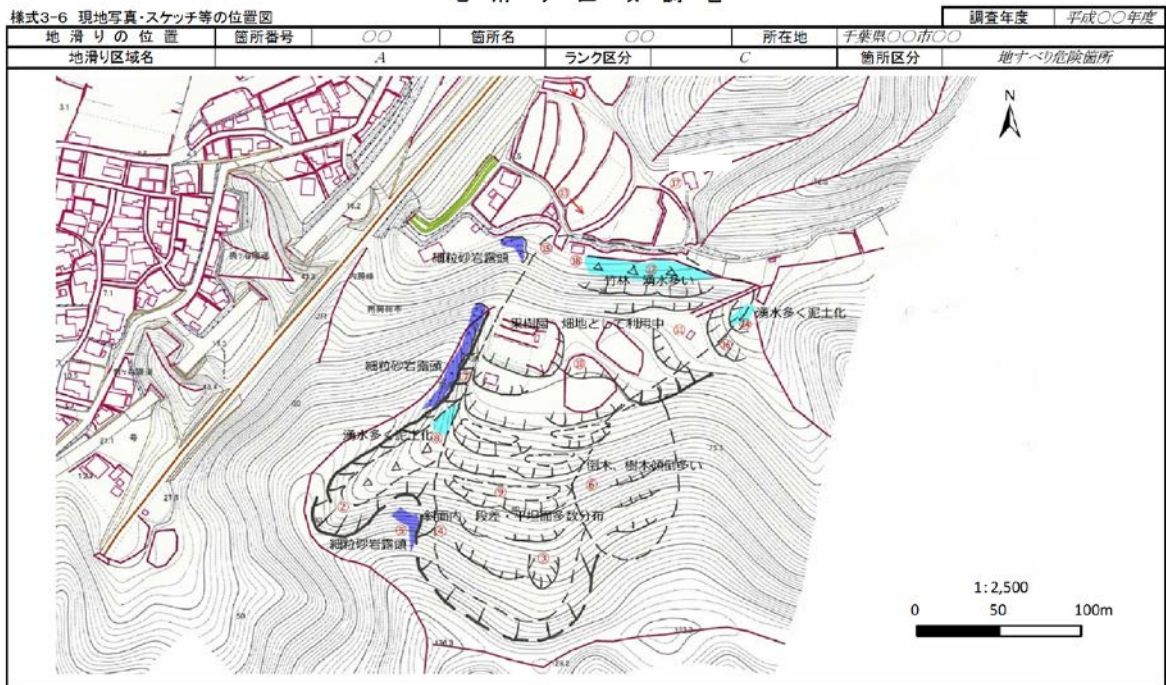
様式3-5 宅地開発の状況および建築の動向

地滑りの位置		箇所番号	箇所名	所在地	千葉県〇〇市〇〇	調査年度	平成〇〇年度
市町村名		〇〇市		〇〇		〇〇	
1) 人口の経年変化	14年前(人)(7)	10年前(人)(4)	増減		5年前(人)(9)	増減	
	(平成2年度)	(平成7年度)	人口(人)	率((イ-7)/7) ×100(%)	(平成12年度)	人口(人)	率((ウ-4)/4) ×100(%)
	都市計画区域内						
	市街化区域						
	都市計画区域外	51,228	48,945	-2,283	-4%	47,154	-1,791
2) 都市計画区域の変遷	15年前(ha)(7)	10年前(ha)(4)	増減		5年前(ha)(9)	増減	
	()	()	面積(ha)	率((イ-7)/7) ×100(%)	()	面積(ha)	率((ウ-4)/4) ×100(%)
都市計画区域の面積							
市街化区域							
都市計画区域の面積							
3) 地価の経年変化	15年前(円/m ²)(7)	10年前(円/m ²)(4)	増減		5年前(円/m ²)(9)	増減	
	()	()	地価(円/m ²)	率((イ-7)/7) ×100(%)	()	地価(円/m ²)	率((ウ-4)/4) ×100(%)
市町村の平均価格(円/m ²)		83,300			21,600	-13,700	-39%
4) 建築確認申請の状況	15年前の申請数の合計(件)(7)	10年前の申請数の合計(件)(4)	増減		5年前の申請数の合計(件)(9)	増減	
	()	()	申請数(件)	率((イ-7)/7) ×100(%)	()	申請数(件)	率((ウ-4)/4) ×100(%)
専用一戸建住宅							
住宅共同・その他							
併用住宅							
合計							
5) 農地転用の状況	15年前の申請数の合計(件)(7)	10年前の申請数の合計(件)(4)	増減		5年前の申請数の合計(件)(9)	増減	
	(平成8年度)	(平成13年度)	申請数(件)	率((イ-7)/7) ×100(%)	(平成18年度)	申請数(件)	率((ウ-4)/4) ×100(%)
一般住宅	97	114	17	18%	70	-44	-39%
その他の住宅	142	50	-92	-37%	67	-23	-26%
合計	239	204	-35	-15%	137	-67	-33%

出 典
 1) 都市計画年報及び総務省統計局統計一覧より、国勢調査より
 2) 都市計画年報より、〇〇市聞き取りより
 3) 国土省地価公示より、平成〇〇年～平成〇〇年地価調査より
 4) 建築統計年報より、〇〇市聞き取りより
 5) 土地利用動向調査より、平成〇〇年度～平成〇〇年度土地利用転換動向調査より

千葉県

地滑り区域調査



地滑り区域調書

様式3-7(1) 現地写真・スケッチ等

地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地	千葉県〇〇市〇〇	調査年度	平成〇〇年度
地滑り区域名	A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所			
<p>※写真の添付順序</p> <p>①地滑りブロックの輪郭を示す写真</p> <p>②地滑り滑動状況を示す写真</p> <p>③地滑り対策施設の状況を示す写真</p> <p>写真番号</p> <p>・上記①～③の区別ごとにブロック頭部の写真から末端部の写真の順で番号を付ける。</p>								
調査対象	全景写真	写真番号	1	調査対象	頭部滑動崖	写真番号	2	
コメント	<p>・地滑りブロック下方からブロック(a,b)を望む。</p> <p>・西方に伸びる尾根との境界付近に段差地形が認められる。</p> <p>・ブロック下部でのaとbとの境界付近</p> <p>・ブロック下部では境界は不明瞭となる。</p> <p>・村道上部に比較的に明瞭な地形変換線がみとめられる。</p> <p>など</p>			撮影年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
コメント	<p>・馬蹄形状に高さ2m程度の滑動崖が認められる。</p> <p>・ブロック中筋付近までは、頭部から連続する段差地形が認められる。</p> <p>・ブロック下部の状況</p> <p>・段差地形が形成されているが、aとbとのブロック境界は不明瞭である。</p> <p>・下方は平坦地となる。</p> <p>など</p>			撮影年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			

千葉県

地滑り区域調書

様式4-1 地滑り区域設定根拠

地滑りの位置	箇所番号	〇〇	箇所名	〇〇	所在地	千葉県〇〇市〇〇	調査年度	平成〇〇年度
地滑り区域名	A	箇所区分	地すべり危険箇所					
地滑りブロック統合								
地滑りブロック統合の有無	有							
統合する地滑りブロック名	ランク区分	地滑りブロックの形状		地滑り区域の種類・形態	地滑り区域名			
	※	長さ(m)	幅(m)					
a1	C	266.0	130.0	第三紀層地すべり / 風化岩地すべり	A			
a2	C	143.0	130.0	第三紀層地すべり / 風化岩地すべり				
a3	C	146.0	25.0	第三紀層地すべり / 崩壊土すべり				
a4	C	95.0	57.0	第三紀層地すべり / 風化岩地すべり				
地滑りブロック統合の根拠	移動方向はすべてのブロックが末端の河川へ調和的に斜面下方へ向かう。ブロック同士の位置関係から、a1～a4ブロックは連動して活動すると考えられる。これらから統合設定できるものと判断した。							
※地滑りブロックの段階でランク区分をする場合に記入								
地滑り区域設定								
地滑り区域名	A							
地滑り区域の長さ L(m)	266.0							
地滑り区域の幅 W(m)	130.0							
地滑りの滑動状況	滑動が確認できない							
判断の根拠	①地滑り全体の明瞭な活動の根拠なし ②動態観測は実施していない。 →①、②より活動は確認できない。 なお、果樹園用に斜面中に張られた							
輪郭および末端部の明瞭性	確認できない							
判断の根拠	空中写真判読及び現地調査を行った結果、地滑りブロックの頭部、側方は明瞭だが、末端部の明瞭性は確認できなかった。現在の地すべり全体の滑動性は不明。							
ランク区分	C							

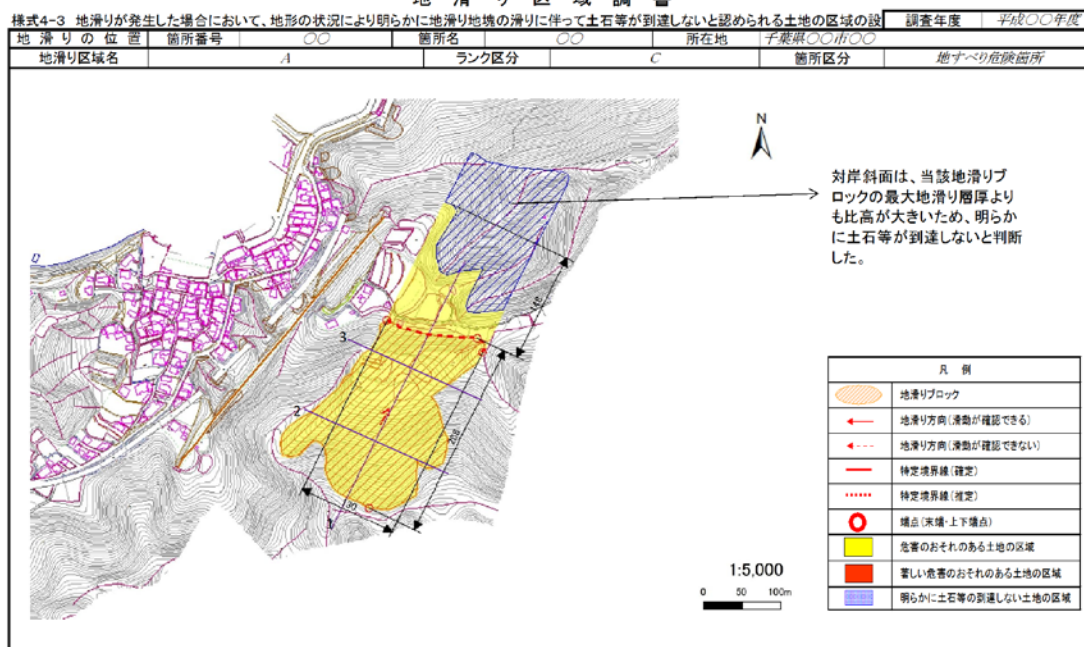
千葉県

地滑り区域調査書

様式4-2 危害のおそれのある土地等の設定根拠						調査年度	平成27年度
地滑りの位置	箇所番号	52	箇所名	小浦	所在地	千葉県南房総市小浦	
地滑り区域名	A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所		
地滑り区域の地形状況							
地滑り区域の規模						地滑り方向(°)	
長さ L (m)	幅 W (m)	最大幅 Wmax (m)	層厚 D (m)	地滑り層厚の設定根拠		(北0°、時計回り)	
266.0	130.0	130.0	17.0	現地の地形状況、断面形状、地質状況よりすべり面を推定し、地滑り層厚を計測した。		26	
地滑り区域の地質状況							
地滑りの分類/種類	地滑り地塊の土質	基盤地質名	地滑り地塊の土質定数			設定の根拠	
			単位体積重量 γ (kN/m ³)	内部摩擦角 φ (°)			
第三紀層地すべり /風化岩すべり	礫混じり土	新生代新第三紀中新世 三浦層群 緩ヶ浦層 砂岩泥岩互層	.	.		危害の恐れのある土地の設定のみなので、単位体積重量、内部摩擦角は設定しない。	
危害のおそれのある土地等の設定							
地滑りの方向(°)	26	地滑り方向の設定根拠	空中写真判読及び現地調査から、概ね最大傾斜方向を滑り方向とした				
地滑りブロック末端位置の設定 (特定境界線の設定)	危害のおそれのある土地の設定			著しい危害のおそれのある土地の設定			
	区域の設定規模			区域の設定規模			
	長さ L1 (m)	幅 W (m)	設定の有無	長さ L2 (m)	幅 W (m)		
平坦地境界	148.0	130.0	無	.	.		
危害のおそれのある土地の 区域設定に関する特記事項	現地調査により、当該箇所には地すべり方向を規制する条件は確認されなかったことから、地滑りブロックの移動方向と平行な方向に設定した。対岸斜面は最大地滑り層厚より比高が大きいため、明らかに土石等の到達しない範囲として危害のおそれのある土地の区域から除外した。						
著しい危害のおそれのある土地の 区域設定に関する特記事項	-						

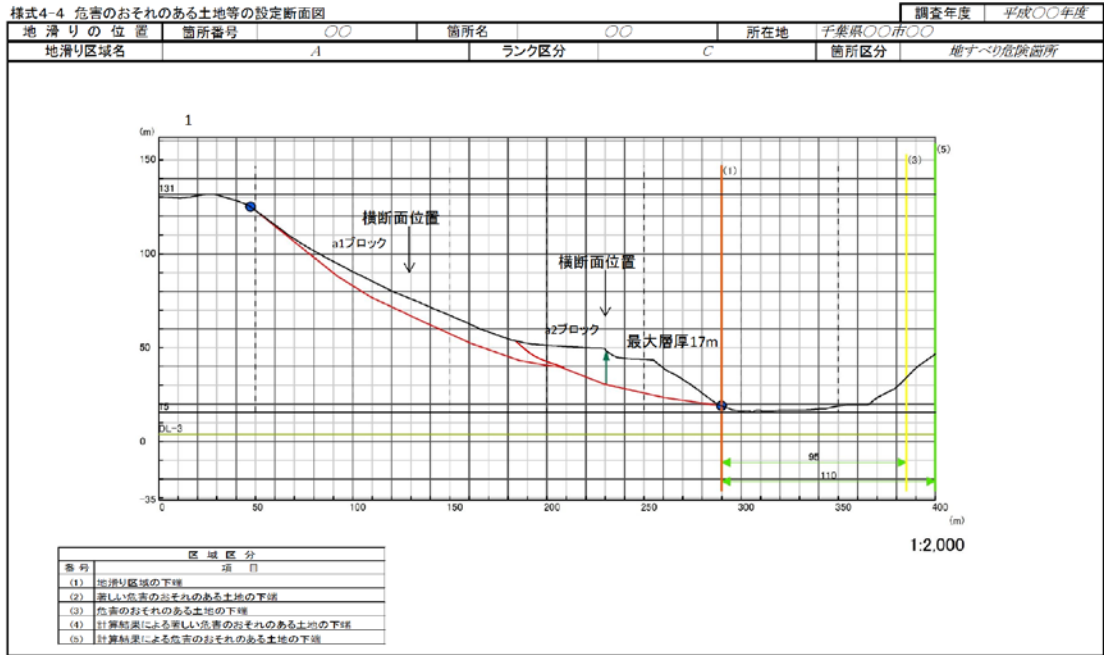
千葉県

地滑り区域調査書



千葉県

地滑り区域調査



千葉県

地滑り区域調査

様式4-5 著しい危害のおそれのある土地等の設定に関する計算結果

地滑り箇所	箇所番号	箇所名	所在地	調査年度	平成〇〇年度
地滑り区域名	A	ランク区分	B	箇所区分	地すべり危険箇所

計算に用いるパラメータ	計算結果(ランク区分がAの場合のみ該当)														
	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定
土石等の単位体積重量 $\gamma =$ (KN/m ³)	$\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} =$ $\tan \phi =$ $F1_{max} =$ $W2_{max} =$														
土石等の内部摩擦角 $\phi =$ (°)															
地滑り区域の長さ $L =$ (m)															
計算式															
① 移動による力(F1)	0.0					20.5					41.0				
$F1 = \gamma(L-x) \left(\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} \right)^2 \tan \phi$	0.5					21.0					41.5				
ただし、 $F1 = 2\gamma \left(\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} \right)^2 \tan \phi$ を超えないものとする	1.0					21.5					42.0				
F1: 移動による力が建築物に作用した時から30分間が経過した時の建築物に作用すると想定される力の大きさ(KN/m ²)	1.5					22.0					42.5				
x: 地滑りブロック下端から当該建築物までの地滑り方向における水平距離(m)	2.0					22.5					43.0				
	2.5					23.0					43.5				
	3.0					23.5					44.0				
	3.5					24.0					44.5				
	4.0					24.5					45.0				
	4.5					25.0					45.5				
	5.0					25.5					46.0				
	5.5					26.0					46.5				
	6.0					26.5					47.0				
	6.5					27.0					47.5				
	7.0					27.5					48.0				
	7.5					28.0					48.5				
	8.0					28.5					49.0				
	8.5					29.0					49.5				
	9.0					29.5					50.0				
	9.5					30.0					50.5				
	10.0					30.5					51.0				
	10.5					31.0					51.5				
	11.0					31.5					52.0				
	11.5					32.0					52.5				
	12.0					32.5					53.0				
	12.5					33.0					53.5				
	13.0					33.5					54.0				
	13.5					34.0					54.5				
	14.0					34.5					55.0				
	14.5					35.0					55.5				
	15.0					35.5					56.0				
	15.5					36.0					56.5				
	16.0					36.5					57.0				
	16.5					37.0					57.5				
	17.0					37.5					58.0				
	17.5					38.0					58.5				
	18.0					38.5					59.0				
	18.5					39.0					59.5				
	19.0					39.5					60.0				
	19.5					40.0									
	20.0					40.5									

著しい危害のおそれのある土地の区域は設定しない

千葉県